キャラクター名
ヴァルター

プレイヤー名

メインクラス	アコライト	**Lv.1:**		**レベル**	4
サポートクラス	アコライト	**Lv.1:**	アコライト	**性別**	男
称号クラス				**年齢**	17
種族	ヒューリン			**境遇**	没落
出自（効果）	騎士			**目標**	探索

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	13	12	8	8	8	18	6
ボーナス	4	4	2	2	2	6	2
クラス修正	0	2	0	2	0	2	0
他修正							
能力値	4	6	2	4	2	8	2

HP	50
MP	60
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ファインメイス	至近	-1	8	0	0	0	0	0
左手	ファインシールド		0	0	0	6	0	-1	0
頭部									
胴部	ライトスーツアーマー				-1	8	0		-3
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	聖印								
能力値			6	0	2	0	8	4	9
スキル									
その他									
総計(右)			5	8	0	19	8	3	6 m
総計(左)			6	0					
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	ランチボックス
ベルトポーチ	└野菜*5
	野菜*1
冒険者セット	果実*3
キャップライト	
ポーションホルダー	
├HPポーション	
├MPポーション*3	
└毒消し	

現在重量：	11		
最大重量：	33	所持金：	1586
		預金・借金：	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	防御中1回	
効果：対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
ヒール	★	4	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果：対象にHP回復を行なう。対象の【HP】を[3D+CL×3]点回復する。クリティカル：ダイスロール増加								
ホーリーウェポン	5	4	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果 :対象にダメージ増加を行なう。対象が行なう武器攻撃のダメージに+[SL×3]する。この効果はシーン終了まで持続する。クリティカル：コスト0								
クイックヒール	★	5	イニシアチブ	-	自身	自動	シーン1階	
効果：《ヒール》を同時に使用する。								
アフェクション	★	-	DR直後	20m	単体	自動	シナリオ1回	
効果：対象が受けるダメージロールの直後に使用する。そのダメージを0に変更する。								
マニフィカート	★	6	効果参照	-	地震	自動	-	
効果：《ホーリーウェポン》や《ホーリーワード》と同時に使用する。同時に使用したスキルの「効果」に「攻撃の命中判定に+1Dする」を追加する。								
	1							
効果：								
フォティチュード	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：【精神基本値】に+3する。								
エンラージリミット	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：携帯品の重量制限が[【筋力基本値】×2]になる。								
ファーストエイド	★	-	メジャー	至近	単体	器用	-	
効果 :対象が戦闘不能の時に有効。難易度10の【器用】判定を行なう。その判定に成功した場合、対象の戦闘不能を回復し、【HP】を1にする。なお、対象は行動済となる。								
ホーリーオーダーⅠ	★	-	効果参照	-	自身	自動	アコライト	
効果：《ホーリーアーマー》か《ホーリーウェポン》か《ホーリーアード》と同時に使用する。フェイトを1点消費。そのスキルの「対象：単体」を「対象：範囲(選択)」に変更する。								
フェイス：ダナン	★	-	パッシブ	-	自身	-	-	
効果：ダメージ軽減を行なうスキル、パワーの効果に+1する。								
ホーリーオーダーⅡ	★	-	戦闘前	-	自身	自動	アコライト	
効果：《ホーリーウェポン》か《ホーリーワード》と同時に使用する。フェイトを1点消費。この効果によりそのスキルを戦闘前に使用する。								
効果：								

ヴァルター。
"遺跡の街"ラインにて、騎士の名家に生まれた妾腹の子。家を出された後、神官として神殿に所属していたが、そのままランディアの勧めで冒険者となった。
かつては周囲の目を気にしていつも頭を下げているような人物だったが、冒険者となり自由な外の世界を知ってから性格が一変した。
「俺はもう自分を偽らない」
言いたい事は何でも言う。やりたい事も何でもする。俺は今、ここに生きているのだから。

【出自：騎士】
エンラージリミットを取得。騎士の名家ラウエンシュタインに生まれた妾腹の子。腹違いの兄が一人おり、兄は剣術や戦術を。弟であるヴァルターはあえて騎士修行を行わず、聖職の道を志した。
幼少より貴族社会の暗部を密かに見つめていたヴァルターは、保身として聖職の道を選び、そして家に従順で立派な息子であろうとした。跡目争いなどになれば、どのような末路が待っているか分からない。父に尽くし、兄の顔色を窺い、そうして献身の道を歩み続けてきた。それが生き残るすべだと思っていたからだ。
父は、そんな俺の事をよく「自慢の息子だ」と褒めてくれていた。なんとも滑稽な話じゃあないか。こちらの気も知らないで。

【境遇：没落】
腹違いの兄が無事成人すると、最早用済みとばかりに家を放逐された。それも当然な話だ。死亡率の高い幼少期を乗り越え、無事成人したのだ。万が一の為と側に置かれていたヴァルターはもう要らぬ。別れの日のくだらぬ三文芝居。息子の門出という形で送り出された時、俺はなんの感慨も抱かなかった。すべて決まっていた事だ。俺が生まれたその日から。

そこからが、この男の没落人生の始まりだったと語る者は多い。だが実態は異なるだろう。彼は生まれたからこそ不幸だったのだから。
神官としての道を本格的に歩み始め、ラインの大神殿にて聖職者として就業を始める。出自を明らかにできない事情があり、当初は随分と不審がられた。信頼を勝ち取るために、ヴァルターはなんでもやった。下賤の者に頭を下げ、強者に媚びをへつらった。ああ、なんということだ。家を出てもなお、俺は同じことをし